

第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート

基本施策名	基本施策3_文化芸術を育む場を「支える」			
	(3)伝統文化の継承・発展			
事業名	伝統文化普及事業 「伝統文化体験」			
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉市文化振興財団		
市との関わり	主催		指定管理者	
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961	(内)90-2525

【評価指標】

1 基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、子ども・若者、領域の広がり）	
(1) 市民主体 実施主体の自己評価は4であるが、2次評価は3に変更 (2) 周知度 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
3 事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
4 市民との関わり（満足度、周知度）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
5 効果（活動の活性化、費用対効果、その他の効果）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	

【提 言】 ※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	☐ A：継続 ☒ B：改善 ☐ C：見直し
※「今後の方向性」の選択結果を踏まえ、今後の事業実施に向けてのご意見・アドバイス等を記載 チラシの対象が高齢者に向けになってしまっているように見受けられるので、若者に訴求するように学生の有効活用など検討されても良いと思う。少なくとも若者が申し込みやすいように申込先にメールアドレス程度は記載するようにすること。 伝統文化の担い手の高齢化が大きな課題となる中で、財団とさまざまな団体で、どう戦略的に事業を実施するか、積極的に詰めていってほしい。 また、アンケートの内容について実施していない項目は削除するなど、来場者が誤解しないものにすること。	